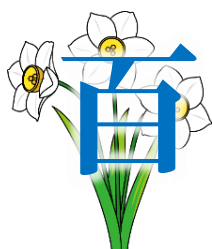


たばた



花 繚



今月の花 水仙 花言葉 「神秘」「尊敬」

12月号



《沈思黙考》

師 走 感 想

12月、師走。「障害者週間」についてはテーマで特集が組まれますので、他の師走の感じ得たことを記します。

《祈り・敬い・許し・願い》



ちょうど1年前、不穏なニュースが飛び込んできた。ラグビーワールドカップの清涼飲料水を飲んだ時のさわやかな興奮が冷めぬうちに、中国武漢でコロナ下が始まったのである。コロナウィルスは凶暴で惨（ムゴ）たらしい攻撃性と巧みで狡猾（コウカツ=ずるがしこい）な守備力を持ち、病魔となって人々を震撼させた。重篤化・死病のラベルが張られた病魔は瞬く間に全世界に広がり、世界は病禍（病下から病禍へ）となった。コロナ禍は人々の暮らしを一変させ、新たな病弊（コロナ病による弊害）を生み出している。人々は慄（オノノ）き、人はそれぞれに「西洋の神に祈り捧げ」・「中東の神に畏敬を述べ」・「東洋の仏に許しを請い」・「日ノ本の神に願い」をし、収束を望んでいる。だが神・人間の叡智の連合軍と病魔コロナ禍とのVS戦いは今のところの軍配は病魔コロナ禍に上がっている。よって、街は静かな12月を迎えている。クリスマスと年末商戦の喧噪は賑やかしさだけを残し、伶俐（れいり=かしこくりこう）な師走を迎えている。街頭スピーカーから聞こえてくる「クリスマスイブ（山下達郎）」「恋人がサンタクロース（松任谷由実）」「ホワイトクリスマス（ピング・クロスビー）」「ハッピークリスマス（ジョンレノン）」のクリスマスソングもまたうるさすぎず、密を避け、間を設け、ハミングを口ずさむ程度の礼節な響きを轟かせている。忘年会シーズンでもあるこの時期が喧噪になることを切に望み、かみさんと二人望念会（ポウネンカイ）を肅々と行った。

《トラ・トラ・トラ》



そして、障害者週間（12/3～12/9）の週間末の12月8日は日米開戦の日でもある。1941年12月8日、日本海軍がハワイオアフ島の真珠湾に「トラ・トラ・トラ」の暗号とともに奇襲攻撃を仕掛け、太平洋戦争が勃発した。

戦争の事由は「アジアモンロー主義（列強に植民地支配されたアジアを開放する）を称える人」や「日露戦争でバルチック艦隊を破り勝利したイメージで、緒戦でアメリカを一撃でたたけば戦意を喪失して、勝利をすると考えていたという人」や「軍人や政治家が不合理で愚かであったからと非難する人」や「アメリカに依存していた石油が禁輸となり、石油ショックの『ジリ貧』が想定され、それを避けるために賭けに出た。合理的選択より高リスクの開戦に踏み切ったという人」などと諸説あるが、いずれにしる暴力や強硬な圧力や居丈高で牽強付会（ケンキョウフカイ=自分の都合の良いように無理にこじつける・自説に有利になるように展開すること）などで武装した恣意（シイ=その時々思い付き）は危うく脆（モロイ）い考え方である。侵略・紛争・戦争などは絶対にしてはならないと思う。

もう一つの「虎・虎・トラ」

娘の干支は虎（1986年生）・妻の干支も虎（1962年生）・そして娘の誕生日は12月8日。だから我が家は「虎・虎・トラ」である。「私はいつも喰われ放しのトラワレの身でもある」



《イマジン=ある・ない》

そして、そして12月8日はジョンレノンが1980年（昭和55年）ニューヨーク・ダコダハウス前で凶弾に倒れた日でもある。先日、小春日和のぽかぽか陽気に誘われて「ジョン&ヨーコ・ダブルファンタジー展」に行ってきた。展覧会会場のソニーミュージアムに入ると右側にジョンレノン（1940年生。イングランド、リバプール出身。本名ジョン・ウィンストン・レノンなど）の生立ち書かれ、左側にはオノヨーコ（1938年生。東京都出身。本名小野洋子。学習院大卒など）が紹介され、ジョン&ヨーコがアーティスト、芸術家であることが色々な作品を通して示している。ヨーコの芸術作品に感化されたジョンはヨーコの思惑にも感化され、平和運動へと突き進んでいく、時はベトナム戦争・東西冷戦の真っ只中である。会場の中広間に入ると、右側の壁からジョンの声が聞こえてくる。「主義・主張・イデオロギー・ドグマなどなどあるけれど」「All we are Saying is give Peace a Chance（僕らが言いたいことは平和にもチャンス）」「All we are Saying is Peace a Chance」とリピートされた「Give Peace A Chance」（平和を我等に）が映像とともに流れている。そして隣のコーナーは「Power to the people」（人々に力を）があり、背後からは「So This is Xmas（クリスマスだね）」「And what have you done（それで君はどんなことをした）」と「Happy Christmas」のクリスマスソングが聴こえてくる。この曲の最後は「War is over Now」「みんなで願えば、戦争は終わる いますぐにでもね」と締めくくる。この展示の流れに乗って待望の曲「Imagine（イマジン）」

が登場してくる。レプリカだがニューヨークのヒルトン・ホテルのメモ用紙に書かれたジョンの手書きの詞が、薄明かりの中に額に入って飾られている。

自筆の「Imagine there's **no** heaven」の出だしの **no** が妙に引き立つように書かれている。「イマジン」ができた経緯の説明書きに、ジョンはヨーコの「Imagine all the people Living life in peace」（想像してみて 全ての人が 平和に暮らしていることを）」の詩に感化され「天国とか地獄とか国の在り方とか地位や名誉など色々な縛りが**無い**としたら」と言って詩を書いたとある。ヨーコは「平和に暮らしている『**Yes**』（**在る**）」と言う。ここで**在る**と**無い**が共鳴する。**在る**と**無い**が一つになる。イマジンの最後の詩文は「And the world will live as one（そして世界は一つになるんだ）」と締め繰られる。**在る**も**無い**も合っ一つになる。大きなスクリーンにはピアノを弾きながらイマジンを歌うジョン、傍らには微笑んで座るヨーコ。有名な映像シーンが流れてこのコーナーが終わる。次のコーナーはやはりダコタハウス前となり、「ストロベリーフィールズよ永遠に」と凶弾に倒れた場所をメモリー化している。辛く悲しく傷ましいコーナーでもある。最後のコーナーにはジョンが亡くなって数週間もたたぬうちにヨーコが発表した「Grow Old With Me（一緒に歳を取ろう）」が紹介され、傍らの映像には息子ショーンの思いで話が写し流され、展覧会は終わる。



《有る人も無い人も=Yes&No》



障害者施策を述べる際に必ずや「障害の有る人も無い人も……」で始まる。障害者基本法でさえ第一条（目的）「この法律は、全ての国民が、障害の有無にかかわらず、ひとしく基本的人権を享有する……」と障害の有無で始まる。育成会の理念もまた「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害の有る人も無い人も共に……」と有る・無いが書かれている。これらを勘考（カンコウ=考えをめぐらす）する。

ジョンとヨーコ風に又はイマジン風に障害者の支援を想像してみた。

☺「障害の有無の線引きなんてないんだよ！だって障害者に使い勝手の良い社会になれば善いからだ」

📖「障害者手帳はその人にレッテルを張り付けることではないんだよ！手帳はライセンス、便利になるために取得をするのだから」

☺「障害者の施設は社会防衛ではないんだよ！施設に相談したのは障害者本人、本人の要望の施設でなければならない」

⌘「支援は障害者を保護することではないんだよ！保護の考え方は隔離と排除になるから」

☺「障害は**有る**ことなんだよ！それによって生じる機能的な不全は誰にでも起きることなんだ！だからそれによる社会的不利＝ハンディキャップにならないように社会は叡智を集めて解決しなければならないんだ」

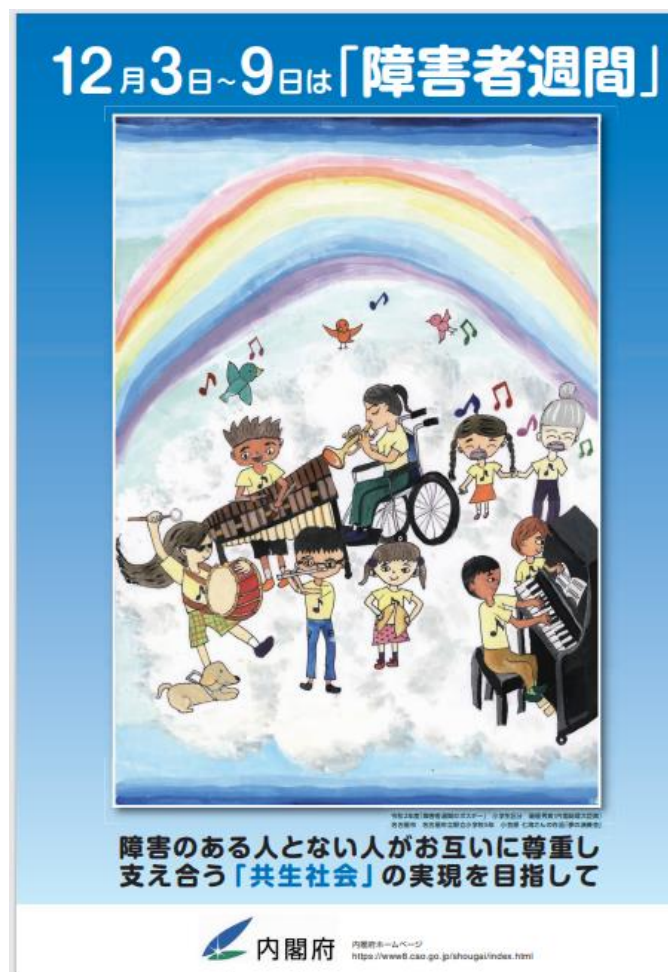
☺「『障害が有る人も無い人も』の括りなんておかしいよ、人の誰もが思っていることはたった一つ、幸福の追求だよ。みんなが幸せになることだよ」

☺「社会態度によってハンディキャップが幸せに変われるよ。いますぐにでもね」などと思う。私たちは社会全体を底上げして、幸福の追求をして行かなければならない。社会に対する使命を持った一市民として、その自覚を持たなければならない。最後に1980年国際障害者年行動計画の一文を記載してこのコーナーを終える。

「社会は、今なお身体的・精神的能力を完全に備えた人々のみの要求を満たすことを概して行っている。社会は、全ての人々のニーズに適切に、最善に対応するためには今なお学ばねばならないのである。社会は、一般的な物理的環境、社会保健事業、教育、労働の機会、それからまたスポーツを含む文化的・社会的な生活全体が障害者にとって利用しやすいように整える義務を負っているのである。これは単に障害者のみならず、社会全体にとっても利益となるものである。ある社会がその構成員のいくらかの人々を閉め出すような場合、それは弱くもろい社会なのである。」



☆彡 今月のテーマ1 《『障害者週間』》 12月3日～12月9日



今月のテーマは、『障害者週間』です。『障害者週間』とは、日本国民に広く障害者福祉について関心や理解を深め、障害者が社会、文化、経済など色々な分野で積極的に参加できる意欲を高めてもらうための一週間です。

経緯

<内閣府>

平成16年6月に障害者基本法が改正され、それまで12月9日を「障害者の日」と定めていた規定から、12月3日から12月9日までを「障害者週間」と定める規定へと改められました。

12月9日は、昭和50年（1975年）に「障害者の権利宣言」が国連総会で採

択された日であり、国際障害者年を記念して、昭和 56 年 11 月 28 日に国際障害者年推進本部が 12 月 9 日を「障害者の日」とすることに決定しました。その後、平成 5 年 11 月に心身障害者対策基本法が障害者基本法に改められた際に、12 月 9 日を「障害者の日」とすることが法律にも規定されました。

一方、12 月 3 日は、昭和 57 年（1982 年）に「障害者に関する世界行動計画」が国連総会で採択された日であり、これを記念して平成 4 年（1992 年）の第 47 回国連総会において、12 月 3 日を「国際障害者デー」とすることが宣言されています。「国際障害者デー」である 12 月 3 日から我が国の「障害者の日」である 12 月 9 日までの 1 週間については、平成 7 年 6 月 27 日に障害者施策推進本部が「障害者週間」とすることを決定しています。

平成 16 年 6 月の障害者基本法の改正により、「障害者の日」は「障害者週間」へと拡大され、これまで障害者施策推進本部決定で設定されていた「障害者週間」も法律に基づくものとなりました。

作文紹介

<引用：内閣府 令和 2 年度「心の輪を広げる体験作文」中学生区分 最優秀賞>

～友達として～ 仙台市立南中山中学校 三年 飛田 愛音

4 年程前、私が小学生だった頃に友達ができた。その友達は障害をもった一歳年下の笑顔が素敵な女の子だ。初めは「障害を持った女の子」と思って接していた自分がいた。しかしその考えが間違っていることに気付かせてくれた。

私の通っていた小学校には障害を持った子達のためのクラスがある。そのため校庭で遊んでいる時や学校内で障害をもった子達と会うことがあった。しかし話す事はなく時々目が合うだけだった。そんな日が続いたある日のこと。私が休み時間に校庭で遊んでいると女の子が話しかけてきた。彼女は、「一緒に遊ぼう。」と優しい口調で誘ってくれた。話し方や顔立ちから障害をもっていることが分かった。目があつたことは何度かあつたけれど話しかけてくれるのは初めてで驚いた。しかしその気持ちよりも話しかけてくれたことに対する喜びの方が大きかった。私は、「いいよ、何をして遊ぼうか。」と言うと「すべり台が良い、すべり台で遊ぼう。」と嬉しそうにはしゃいでいた。時間はあつという間に

過ぎ休み時間の終わりを告げるチャイムになる。私達は次の授業に向け各々の教室に戻る。すると別れ際、彼女は言う「楽しかったね。また遊ぼうね、私達友達だね。バイバイ。」と。私は手を振って教室に入っていく彼女を見てはっとする。そうか私たちは友達なんだ。障害を持っている人と障害を持っていない人という関係ではない。友達なのだ。私は彼女が見えなくなる前に、「私も楽しかった。友達になってくれてありがとう。」と大きな声で伝えた。彼女は最後まで手を振り返してくれた。

この日、私の中で障害に対する考えが大きく変わった。私は勝手に壁を作ってしまった。彼女は障害をもっているから私とは違う、私達は友達になれないという心の壁を。しかしこの考えは違っていると彼女は気付かせてくれた。障害という壁はないのだ。障害を持っている人も障害を持っていない人も支え合わなくてはならない。だからこそ壁を作るのではなく手を差し伸べる、いつだって私達は仲良くなれるなど、障害に対する考えを改めていくべきなのだ。そうすれば障害を持った人達はもっと楽しく生きやすい未来が待っていると思う。

あの日、私に大切なことを教えてくれた彼女にありがとうと伝えたい。彼女はもう「障害を持った女の子」ではない。私の大切な友達だ。

障害者週間イベント

① 東京都…「広げよう 寄りそう心と 理解の輪」を啓発ポスターの標語とし、障害者週間をPRしていきます。

②北区…「キャップアートパネル」

○障害者福祉センター喫茶の壁へ展示されます。
展示場所：
喫茶
“ふれあい”



☆多 今月のたばた たまった通信

《新利用者紹介》



○小野寺直子さん

11月から入所しました。
毎日、元気に通える様に頑張ります。
宜しくお願いします。

《退職職員》



○板山支援員

2年間お世話になりました。たばた福祉作業所を12月31日付をもって退職させて頂くことになりました。全くの未経験の私を、利用者さん職員の皆様はとても親切にしてくださり、本当に幸せだったとしみじみ感じております。全ての経験が宝物であり、新たな旅立ちに必要な尊い学びを頂けたことに心より感謝いたします。皆様が末永く心身共に健やかでありますようお願い申し上げます。

《盆パラオンライン》



11/26 盆パラオンラインを行いました。みんなで先生に合わせて元気に楽しく踊りました！！

《クリスマスケーキ》



今年もクリスマスケーキが届きます。協和冷熱工業株式会社より寄贈いただけます。ぜひ、当日までお楽しみにして下さい！！

12月22日（火）AM 到着予定

☆㊦ ベターベタートピックス

今回は「北区立若葉福祉園」根本 康英さんの書道を紹介します。



①10年前に書道をはじめたきっかけの作品“龍”です。
始めは友人の母の趣味が書道だった為、字を書く事が好きな康英さんへ
「筆を試してみる？」と勧められ、始めたことがきっかけ。太い筆を持つと、
とても楽しそうに普段とは異なる、迫力のある文字を描いたそうです。

②一年に一回、友人宅で10枚程度の書を書きます。その年に書く漢字は、お手本を見て数ある中選からます。根本さんが気に入った一文字だけを選んで書き進め行くとの事です。一文字に墨は二回くらい付け直します。その時の墨の濃淡は根本さんの加減で決まります。地域の作品展や、知人達と個展を開催しています。(残念ながら、今回は個展がありません。)



③根本さんは、普段はお母さんの文字を真似する事が好きとの事です。「寿」は左側が母の字で右側が根本さんの文字です。

